

### 3月常任理事会

日時 3月14日(月) 18時30分～20時30分  
場所 労政会館 5F 会議室  
出席者 滝田博之、塩沢寿雄、木ノ内高嘉、前川朝夫、清水雄三、豊田稔、工藤誠志、松永義夫、大石一博、鈴木修、高橋弘、田中保広、堀内修、坂田昇、(文責)計15名 欠席 出利葉義次、小田直美、諸戸明、会長挨拶

①平成27年度の事業も無事終了。協力ありがとうございました。ごさいました。  
②今年度創設の個人会員制度は8名入会した。次年度も継続。  
③「山の日」の行事、各団体からの代表選出して活動開始。  
④新年度の総会準備よろしくお願ひします。

(1) 報告事項  
① 指導委員会(工藤)・指導員研修会、1月31日に、28名参加で実施した。  
・冬山講習会、2月6～7日に、30名参加(中級14名、高体連15名、指導者1名)で実施した。

・各団体のハイキング、県岳連は、富士山周辺で実施予定。静岡市岳連は、大日峠周辺の古道で実施。労山は湖西連峰で実施。  
④ 通常総会4月23日(土)13時30分「あざれあ」で開催。4月11日(月)別途打合せ

(2) 事業計画(新年度)  
① 国体委員会(木ノ内)・県予選実施要項作成、実施日時5月3日(火)、詳細は実施要項による。  
・若い人の参加を募る為新たに生まれ年月(平成10年4月以前生まれ)を記載した。  
・大会前までに「選手登録」が必要となる。  
② 28年度スポーツフェスタ(堀内)  
・概要説明、実施時期9月24日(土)、25(日)  
・会場 富士山周辺  
・募集人員とコース  
Aコース(一泊) 20名  
バス(須走5合目)小富士(馬返し)  
Bコース(日帰り) 50名  
幕岩(御殿場)  
③ 「山の日」の行事(滝田)

・各団体のハイキング、県岳連は、富士山周辺で実施予定。静岡市岳連は、大日峠周辺の古道で実施。労山は湖西連峰で実施。  
④ 通常総会4月23日(土)13時30分「あざれあ」で開催。4月11日(月)別途打合せ

(3) 27年度事業の状況  
① 各種講習会 参加費がアップしたため、参加者減少し、事業が赤字となった。今後は、赤字の事業は岳連で負担(会場費など)する。講習会は継続する。個人会員27年度は8名。  
② 28年度の個人会員募集のパンフに「登山講習会の一覧」を折り込む。  
・各種講習会補助員の手当なし、今後は、弁当代程度は考慮する。  
・登山教室などの際、自車利用を止め、運転手付のマイクロバスを考慮。  
・各種講習会参加費用の見直しを検討する。(具体的費用を提示)  
② 決算書  
・27年度決算を説明、28年度予算、各事業計画を積み上げて策定。(各担当で作成願う)  
・各事業は、先を考えて

### 4月常任理事会

4月11日(月) 18時30分から静岡労政会館5階会議室で開催された。  
出席者は滝田、木ノ内、塩澤、豊田、高橋、諸戸、清水、小田、大石、田中、内海、工藤、増田、鈴木修 計14名  
会長挨拶  
① クライミングがオリンピック競技になることで、色々な動きが出てくるようだ。選手の規律等社会的にも変化が出てきた。  
② 本年度「岩手国体」の説明  
28年度の計画について  
【国体委員会】第71回国体県予選  
5月3日(火)浜松スクエア(リード) B・S P O T (ボルダリング)

28年度通常総会について  
① 4月23日(土) 13時30分より「あざれあ」にて理事は13時集合のこと  
② 司会等の役割分担を決めた。  
③ 27年度の事業報告を承認した。  
④ 27年度の決算報告を承認した。  
⑤ 28年度の事業計画案を説明、確認した。  
⑥ 28年度の会計予算案を承認した。  
⑦ 役員の見直しを承認した。  
⑧ 千頭山の会・自衛隊山岳部が岳連から脱退する。その他  
① 28年の夏山登山教室の説明  
・7月30日～31日 北ア  
・7月30日 五竜岳  
② 個人会員の件 27年度は8名だった。そのうち1名が継続。今年度の新規は今のところ2名。  
③ 高体連登山部創立60周年記念行事  
・「アイガー・ユングフラウ・メンヒ登山」8月16日～25日 10日間  
④ 講演会  
・5月30日(月) 13時30分 富士市「ロゼシアター」国際山岳医 大城和恵氏

演題「安全な登山のための基礎知識」  
(鈴木修)

編集後記  
総会が終わり、新年度がスタートした。昨年の個人会員制度の発足から岳連の活動が活性化してきた。個人会員向け各種講習会も多数実施し、多くの参加者を得ることができた。この流れを本年度も継続し、岳連の存在をアピールしていきたいものだ。

小生の知人が岩淵鳥居講で富士山に鳥居を奉納に行くこと聞いたのは12年前のことであった。よく聞いてみると岩淵鳥居講とは、江戸時代初期から幕府より渡船役を司っていた岩淵村が、富士川渡船の船を造る木材が富士浅間神社の社領から伐り出されていて、その返礼として申年に鳥居を奉納する神事が今も続いているという。  
今年が申年、8月7日早朝に奉納するという。場所は富士宮口頂上直下。真新しい白木の鳥居を見に行くのが楽しみだ。  
(TK)

静岡県山岳連盟  
〒420-8076  
静岡市駿河区八幡3-1-17  
TEL (FAX) 054-288-7512  
編集発行/総務委員会  
平成28年6月13日発行  
第17号

岳連 ニュース

# 宝永

URL: http://www.shizuokam.com

## 滝田会長選出 役員改選

### 28年通常総会 事業計画・予算など承認

平成28年度の通常総会が、4月23日(土)静岡市の「あざれあ」で開催された。出席者は16名、委任6名の22名である。冒頭滝田会長から昨年度の活性化と財政支援の観点から、個人会員制度を創設し、8名の会員が入会した。本年度も継続していきたい。各種登山教室、講習会を計画している。制度を早期に軌道に乗せていきたい。財政について、分担金収入の全てが上部団体への納入金で、カレンダー販売、講習会収入、還付

金等で運営しているのが現状である。諸事業への協力をお願いしたい。祝日「山の日」のイベントを県山岳4団体で実施することになった。8月11日「あざれあ」において講演会と山岳写真展を開催し、10月16日には東中西の3地域で記念のハイキングを実施する計画である。と挨拶があった。



議長に清水雄三氏(副会長・高体連)を選出し議事に入った。  
◆ 27年度事業報告  
全体の事業報告と各委員会からの報告があった。従来の事業に加え、個人会員制度運営上の講習会が多くなった。和歌山団体では、成年女子がリーダー3位、ボルダ5位、皇后杯6位と素晴らしい成績を残した。その他、スポーツクライミング指導員養成講習会、アルパイン指導員養成講習会を実施した。又、ネパール大



◆ 27年度決算報告  
大石会計より説明があり、一般会計では昨年並みの繰越金を残し決算できた。分担金は全ての団体から納入があり、事業収入は増収となった。支出の団体納入費が3割を占める特異な状況にある。などの説明のあと、監査

報告があり原案どおり承認された。  
◆ 28年度事業計画  
今年も個人会員制度の維持、進展のための講習会、教室を多く取り入れ、目立っている。夏山教室は五竜岳へ秋山は赤岳を計画している。新しい事業は、県内山岳4団体共催の「山の日」記念事業で、県岳連は3地域で実施する記念ハイクの内「宝永火口から宝永山」のコースを担当する。などの計画を承認した。  
◆ 28年度予算  
加盟団体が28年から2団体減少することから、分担金を減額し、昨年増収となった事業収入も前年予算並みと手堅く収入を計上した。支出では事業費を増額し、事業実施に伴う赤字補填と無理なく事業の執行ができる体制を整えた。  
◆ 役員改選  
今年役員改選の年で、席上、慣例により選考委員会を設け検討し、役員案の提示を受け、審議することとなった。  
選考結果が松永義夫委員長より、会長に滝田博

之氏、他正副理事長、監事の報告があり承認された。続いて滝田会長から、副会長2名が選任され承認した。会長委嘱の相談役に前副会長の塩澤寿雄氏、自衛隊山岳部の松岡壮氏を新たに委嘱した。  
◆ 28・29年度新役員  
【会長】滝田博之  
【副会長】前川朝夫、清水雄三  
【理事長】木ノ内高嘉  
【副理事長】出利葉義次  
【監事】豊田稔、高橋弘  
◆ スポーツフェス登山大会  
28年度準備状況  
期日 9月24日～25日  
会場 富士山周辺  
コース・募集人員  
Aコース(1泊2日) 20名  
須走五合目・小富士・馬返し 水が塚・二子山・御殿場新五合目  
Bコース(日帰り) 50名  
御殿場新五合目・幕岩・二子山・御殿場新五合目  
・29年度担当ブロック  
先の常任理事会で静岡地区の担当が決まったと報告した。  
特別な問題もなく、スムーズな議事運営により無事総会を終了することができた。  
(木ノ内高嘉)

# 中村2完登優勝

## 岩手国体県予選会

本年度の岩手国体予選会が5月3日に41名の参加を得て、リードを浜松スクエア、ボルダリングをB・S・P・O・Tにて行われました。

午前中に行われたリード競技、は、少年女子は12bの課題で、中村が余裕をもって完登し、昨年度全日本ユース代表の力を見せました。少年男子と成年女子は共通課題で、休めないホールドでメイン壁を登る12c.dの課題で、少年男子では、河合が唯一中間部の遠いホールドを保持して次のホールドを取ることでフォールしたがそれが最高到達点となり、引き続き行われた成年女子の3名は、力が拮抗しており、全員、河合の1手手前のホールドを取りに行くところでフォールし、時間差で順位がつかまりました。成年男子は、正面のメイン壁で最大傾斜の部分でトラバースし抜ける厳しいルートで、3番目に登場した田邊が、気持ちの入った的確な登りを見せ、唯一の完登を果たし観客を沸かせました(13bc)。



その後、B・S・P・O・Tに移動して行われたボルダリング競技は4種別・別ルート・4分間オンサイト・4課題のベルトコンベアー方式で行われました。女子は少年の中村が4完登、オープン参加の片木が3完登と続いて力をみせました。成年女子は、様々な能力が試される厳しい課題で望月が1完登で、あとの2名は



ら、コメントをいただいていた閉会しました。会場を提供していただいたスクエアさんとB・S・P・O・Tさんには大変感謝申し上げます。

ボーナスの争いとなりました。また少年男子は、3名が2完登でトライ数で望月がトップとなり、最後の成年男子はボルダリングでも田邊が3完登で抜け出し、伊藤と鈴木が2完登で続きました。

ボルダリングのセットには新鮮な発想でセットの意図が伝わってくるような課題も多く、非常に盛り上がりつつ競技を終了することができました。

最後に、セッターをお祝いし当日も競技の終わるまで見届けていただいた、愛知県の大山さんか

次の上位2名の選手が、東海ブロック大会(成年男子は本国体)に駒を進めることになりました。東海ブロックの突破、本大会での活躍を期待しています。

成年男子 1位 田邊匡  
2位 伊藤優輝

# メダル獲得へ強化体制

## 白山協

5月29日(日)岸記念体育会館会議室で、白山協の28年度定時総会が開催された。

最初に八木原会長から、本協会は、わが国の登山界を統括する団体として、安全登山を第一に、山の環境と文化に配慮した登山及び山岳スポーツの普及・振興を図るため、関係機関・団体と連携・協力して、その実現に向けて努力している。

特に本年度からは、スポーツクライミングが2020年東京五輪の追加種目となることを前提に、中央競技団体としての組織強化とメダル獲得に向けた選手強化体制を構築したい。

一方、国民の祝日として28年度から施行される



「山の日」が「国民こそつて、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」となるように、各種登山の普及・振興事業を全国的な視野に立って、積極的・効果的に実施することとしている。

しかし、白山協の現在の組織や財政基盤で5年後を迎えることができるのか、これまでの課題や問題はあまりにも多い。そのため、スポーツクライミングの五輪種目化に伴う国内の中央競技団体のあり方や組織等について、諮問委員会(座長・神崎顧問)に諮問した。と挨拶があった。

議事は、第1号議案平成27年度事業報告の承認について、第2号議案平成27年度収支決算報告について、3、会長諮問委員会答申を受けて、4、創立60周年記念事業募金及び熊本地震災害募金について、5、その他として、第55回全日本登山大会・島根大会(予報)について、と、祝日「山の日」記念事業について、であった。

最後に、各顧問からのご意見等を伺い、14時25分に終了し散会した。

(滝田博之)

# 東京五輪へ選手強化

## 競技委員総会 28年ブロック研修静岡に

28年度日山協競技委員総会が4月3日、岸記念体育館で41県が出席し開催された。

オリンピック種目の追加種目への推薦をうけ、選手強化の体制作り、および取り巻く環境の変化への対応などが議題の中心となった。

八木原会長挨拶・森下競技部長挨拶のあと

1 27年度事業報告

(1) 競技会運営報告  
・全日本ユース選手権ボルドリング競技大会(鳥取倉吉)、第29回リード・ジャパンカップ(和歌山みなべ)、第18回JOCジュニアオリンピックカップ(富山桜が池)、第6回全国高校クライミング選抜選手権大会(埼玉加須)、第11回ボルドリングジャパンカップ(埼玉加須)

(2) 技術委員報告

セッター研修会、2回実施。

(3) 選手強化委員会報告  
日本のボルダの世界ランキングは高いが、リードは2013より低下。オリンピックに向けて強化合宿(イタリア)では、海外コーチをつけて、スピードの練習を実施。

(4) オリンピックプロジェクト委員会報告  
・強化方針 スピードに対する取り組み。フィジカルとメンタル面の強化が必要。  
・選手選考は結果の残せることが条件  
・代表選考大会 個人ラ

ランキングの可能性あり。

(5) 指導者資格について  
・本年度から監督は、指導者資格がないと参加できない  
2 28年度事業計画  
・競技部ブロック研修会(静岡) 29年2月25日、26日実施予定。  
3 国体規則の一部改訂  
・セッターはリードとボ

# 富士高初優勝

## 高校総体 女子団体

第64回静岡県高等学校総合体育大会登山競技が中部の竜爪山を会場として5月28日、29日に実施

ルダを区別せずに7名。4 技術委員会より27年同様の日程でルートセッター研修会を実施。審判員、セッターの各県の登録状況について。

5 国体ブロック別出場都道府県枠について：東海は成女1・少男2・少女1 (諸戸明)

された。男子18校、女子8校が、全国大会、東海大会への出場権を目指し熱い戦いを繰り広げた。

28日は竜爪中学校にて開会式、筆記試験。その後、登山行動で梶原山、一本松を経由して幕営地の北沼上小学校までのコースを歩いた。やがて、生憎の雨となり、設営には各校とも苦労したようだ。

29日は雨も収まり、暑さとの戦いとなった。北沼上小学校から文珠岳、薬師岳を超えて穂積神社までというハードコースに挑んだ。

男子は浜松日体高が富士宮西高を総合得点で僅かにかわし2年連続優勝

# 南アルプス春山相談所開設

南アルプスの春山相談所が、4月29日から5月8日までの10日間、沼平の指導センターで開設された。

県遭対協からの要請により、県岳連から指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者



は、計95パーティで、茶臼岳・光岳方面が67パーティ、聖岳方面が13パーティ、赤石岳方面が10パーティ、その他が5パーティで、前半が多く後半は少な

く、全体では昨年より少なかった。

今年の積雪は、昨年の暮れから非常に少なく、茶臼岳や光岳の稜線には雪は無いとのことだった。天候は、3日の夜から4日の朝まで強い雨が降ったが、晴天の日が多かった。事故は、道迷いや滑落があったが自力で下山できた。近年の傾向だが、単独の登山者が増えており安全登山に心がけてほしい。

(滝田博之)

入賞した学校は以下の通りである。男子は6位まで、女子は4位までが入賞。

【男子団体】 1位 浜松日体 2位 富士宮西 3位 藤枝東 4位 葦山 5位 清水東 6位 島田

【女子団体】 1位 富士 2位 富士宮西 3位 藤枝東 4位 静岡

(清水雄三)